

腎がんのロボット手術

小径腎がんの場合（大きさが4cm ぐらいまで）、現在は部分切除術が主流な治療法となっています。当科では腹腔鏡での部分切除術に加えて、ロボット支援下の腎部分切除術を行っています。腹腔鏡に比較して自由度の高い鉗子で切除が可能で縫合も極めて容易となり、腫瘍部分を切除する際に行う腎血流遮断時間の短縮につながっています。腎血流遮断時間の短縮は腎臓の機能の保持に結びつくといわれており、また正確な切除と確実な腎臓の実質の縫合も容易となり、術後の良好な腎機能を維持できています。

当科では当手術に対する施設基準を満たしており、2016年4月の診療報酬の改訂により腎がんのロボット支援部分切除術を保険適応で受けていただけるようになりました。

前立腺がん、腎がんに対するロボット支援手術をご希望の方は当院泌尿器科外来までお問い合わせください。
06-6692-1201(内線 2240)

